

デーヴォ ガイド



2023.11.13-19

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。



16:1 人は心に計画を持つ。しかし、舌への答えは【主】から来る。
 16:2 人には自分の行いがみな純粋に見える。しかし、【主】は人の霊の値打ちを量られる。
 16:3 あなたのわざを【主】にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ。
 16:4 すべてのものを、【主】はご自分の目的のために造り、悪しき者さえ、わざわざの日のために造られた。
 16:5 心の高ぶりはすべて【主】に忌み嫌われる。断じて罰を免れない。
 16:6 恵みとまことによって、咎は赦され、【主】を恐れることによって、人は悪を離れる。
 16:7 【主】が人の行いを喜ぶとき、敵さえもその人と和らげる。
 16:8 正義によるわずかなものは、不正による多くの収穫にまさる。
 16:9 人は心に自分の道を思い巡らす。しかし、【主】が人の歩みを確かにされる。
 16:10 王の唇には神々しさがある。さばくときに、その口は神の信頼を裏切らない。
 16:11 正しい天秤と秤は【主】のもの。袋の中の重り石もみな、主が造られたもの。
 16:12 悪を行うことは王たちの忌み嫌うこと。王座は正義によって堅く立つからだ。
 16:13 正しい唇は王たちの喜び。真っ直ぐなことを語る者は愛される。
 16:14 王の憤りは死の使い。知恵のある人がそれをなだめる。
 16:15 王の顔の光にはいのちがある。彼のいづくしみは後の雨をもたらす密雲のようだ。
 16:16 知恵を得ることは、黄金を得るより

はるかに良い。悟りを得ることは、銀を得るよりも望ましい。
 16:17 直ぐな人の大路は悪から遠ざかっている。自分のたましいを守る者は自分の道を見張る。
 16:18 高慢は破滅に先立ち、高ぶった霊は挫折に先立つ。
 16:19 へりくだって、貧しい者とともにいるのは、高ぶる者とともに分捕り物を分け合うのにまさる。

私たちは願いがあって、そこに至るための「計画」を持ちますが、主が主権を持っておられるので、「主にゆだね」の信頼が何よりも大切です。自分の考えが「純粋」に思えますから、自分の計画は変えたくないと思えることもあります。主の視点は私たちの「霊」すなわち、心の根の部分にありますから、とにかく主にお任せすることです。その上で考え、行動し、「舌（ことば）」を使いましょう。
 自分に「高ぶり」がないか、心を探りましょう。謙遜であれば、「敵」とも和らぐ可能性が生まれます。主によって「確か」なものとさせていただけますから、争う必要はありません。
 「王」のようなこの世の権力も、主によって必要があり立てられています。主の義に従うことが優先ですが、そのためにも、秩序をもたらす権威を尊重しましょう。
 自分が「直ぐな」道にあるかどうかを確認するためには、自分のたましいを守りましょう。になっていないか、貧しい人を尊敬しているかどうかを、確認しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 14日 火曜

箴言

16:20 みことばによく通じた者は幸いを見出す。【主】に拠り頼む者は幸いである。
16:21 心に知恵のある者は、悟りのある者と呼ばれ、そのことばの心地よさは理解を増し加える。
16:22 賢明さは、これを持つ者にはいのちの泉。愚かさは、愚か者への懲らしめ。
16:23 知恵のある者の心はその口を賢くし、その唇に洞察を深める。
16:24 親切なことばは蜂蜜。たましいに甘く、骨を健やかにする。
16:25 人の目にはまっすぐに見えるが、その終わりが死となる道がある。
16:26 苦勞する者は食欲のために働く。その口が彼を駆り立てるからだ。
16:27 よこしまな者は悪を企む。その唇の上にあるものは焼き尽くす火のようだ。
16:28 ねじれ者は争いを巻き起こし、陰口をたたく者は親しい友を離れさせる。
16:29 暴虐を行う者は自分の隣人を惑わし、良くない道へ導く。
16:30 目で合図する者はねじれごとを企み、唇をすばめる者は悪をやり遂げた者だ。
16:31 白髪は栄えの冠。それは正義の道に見出される。
16:32 怒りを遅くする者は勇士にまさり、自分の霊を治める者は町を攻め取る者にまさる。
16:33 くじは膝に投げられるが、そのすべての決定は【主】から来る。

知恵のあることばは人を「心地」よくするので、理解してもらえます。理解されないと周囲を嘆く前に、知恵によって語ることを心がけましょう。それには「みことば」によく通じることです。そうする



と知恵だけでなく、蜂蜜用のように人に喜びを与えます。

自分に「よこしま」や「ねじれ者」の心がないか、内面を探ってみましょう。また「暴虐」を行う者などが成功しているのを見ても、心を動かされないようにしましょう。「その終わり」は死であり、「親しい友」は離れ去っていくからです。

「白髪」は人生経験と、そこから来る忍耐や知恵をイメージさせますから、良いものです。経験を活かすすなら「正義」とは何かを悟こともできるでしょう。

正義の「怒り」で攻撃するのが「勇士」ではなく、怒りよりも主のみこころを行うのが真の勇士です。なので、自分の「霊」が主に向くように、「治め」、コントロールしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 15日 水曜

箴言



17:1 乾いたパンが一切れあって平穩なのは、ごちそうと争いに満ちた家にまさる。

17:2 賢明なしもべは、恥知らずな子をも治め、兄弟たちの間にあって、資産の分け前にあずかる。

17:3 銀にはるつば、金には炉、人の心を試すのは【主】。

17:4 悪を行う者は邪悪な唇に聞き入り、偽り者は破滅の舌に耳を傾ける。

17:5 貧しい者を嘲る者は自分の造り主をそしる。人の災難を喜ぶ者は罰を免れない。

17:6 孫たちは老人の冠。父祖たちは子らの栄え。

17:7 愚か者に雄弁な舌はふさわしくない。高貴な人に偽りの唇はなおふさわしくない。

17:8 賄賂は、その贈り主の目には宝石。その向かうところ、どこにおいても、うまくいく。

17:9 愛を追い求める者は背きの罪をおおう。同じことを蒸し返す者は親しい友を離れさせる。

17:10 分別のある者を一回叱ることは、愚かな者を百回むち打つよりも効き目がある。

17:11 悪人はただ逆らうことだけを求める。その者には残忍な使者が送られる。

17:12 愚かさにつける愚かな者に会うより、子を奪われた雌熊に出会うほうがましだ。

本当の幸せは「平穩」な家庭です。主のみこころに沿った「賢明」なしもべとなりましょう。

「邪悪」や「破滅」の生き方をするような人や行動に興味を持って「耳を傾ける」ことは「悪」への呼び水になります。「貧しい」人を見下げたり、「災難」にある人を興味本位で見るような心がない

か自戒しましょう。

孫、また祖父母を主からの「冠」として、光栄を感じ取りましょう。

「雄弁な舌」や「唇」は「偽り」のためにあるのではなく、真実を曲げない人のためにあります。人によっては「賄賂」に効果がありますが、それは偽る人の話です。

「罪をおおう」人となりましょう。人の罪や失敗を何度も「蒸し返す」ことはやめましょう。

「分別」のある人を見極めましょう。同じ「叱る」のでも、そこに期待があります。「ただ逆らう」だけの人もいますから、人物を見る必要があります。特に「愚かさにつける」ようになかなか変わらない人は、心して交わる必要があります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶ 16日 木曜

箴言

17:13 善に代えて悪を返すなら、その者の家から悪は離れない。

17:14 口論の始まりは水が吹き出すようなもの。争い事が起こらないうちにやめよ。

17:15 悪しき者を正しいとする者、正しい人を悪いとする者、【主】はこの両者を忌み嫌われる。

17:16 愚かな者が良識もないのに、知恵を買おうとして、手に代金を持っている。これはどうしたことが。

17:17 友はどんなときにも愛するもの。兄弟は苦難を分け合うために生まれる。

17:18 良識のない人は、すぐ誓約をし、隣人の前で保証人となる。

17:19 背きの罪を愛する者はけんかを愛する。自分の門を高くする者は破滅を求める。

17:20 心の曲がった者は幸いを見つけない。二枚舌の者はわざわいに陥る。

17:21 愚かな者を生む者には悲しみがあり、愚か者の父には喜びがない。

17:22 喜んでいいる心は健康を良くし、打ちひしがれた霊は骨を枯らす。

17:23 悪しき者は人の懐から賄賂を受け取り、さばきの道を曲げる。

17:24 悟りのある者はその顔を知恵に向け、愚かな者は目を地の果てに注ぐ。

17:25 愚かな子はその父の憂い、これを産んだ母の痛み。

17:26 正しい人に罰金を科すことが良いことでないなら、高貴な人を実直さゆえに打つのは、なおのこと。

17:27 ことばを控える人は知識を持つ者。霊において冷静な人は英知のある者。



17:28 愚か者でも黙っていれば、知恵のある者と思われ、その唇を閉じていれば、分別のある者と思われる。

「善に代えて悪を返す」などとは、自分はないだろうと思いますが、親切に対してうつつしいなどという反応はしてしまうかも知れないので注意が必要です。口論も気を付けないと、思いがけない争いになりますから注意しましょう。

友や兄弟がいることは幸いです。「どんなときにも愛」するのだと心に決めましょう。「苦難」も分けてもらいましょう。幸いな人生になります。一時の人情や自負心で「誓約」や「保証」をすることは、人を神のように信じてしまうようなものです。信頼できるは神様だけであることを銘記しましょう。むしろ神の愛で愛しましょう。

「背く」ことでうまく出し抜いて成功しようとしても、その結果は「けんか」でありトラブルです。どこまでも誠実でありましょう。「門を高く」するとは高慢を意味するようです。自分を良く見せようすると、足をすくわれて最悪の場合は「破滅」となります。

また人は自分を守ろうとして「二枚舌」を使いますが、結果は逆で、守るどころかわざわいとなります。やはり誠実な者が主に祝福されるのです。

ことばにおいて慎重でありましょう。特に感情にながされずに「冷静」であることは「英知」が働く条件です。仮に英知がなくても、「分別のある」人と思わるから、得です。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主に扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



➤ 17日 金曜

箴言

18:1 自らを閉ざす者は自分の欲望のままに求め、すべての知性と仲たがいます。
18:2 愚かな者は英知を喜ばず、自分の心がさらけ出されることを喜ぶ。
18:3 悪しき者が来ると、悔りも来る。辱めとともに、それしも。
18:4 人の口のことばは深い水。知恵の泉は湧いて流れる川。
18:5 悪しき者をえこひいきすることも、正しい人をさばきで退けることも良くない。
18:6 愚かな者の唇は争い事に入って行き、その口はむち打つ者を呼び寄せる。
18:7 愚かな者の口は自らの滅びを招き、その唇は自分のたましいの罠となる。
18:8 陰口をたたく者のことばは、おいしい食べ物。腹の奥に下って行く。
18:9 自分の仕事をさえ怠ける者は、滅びをもたらす者の兄弟である。
18:10 【主】の名は堅固なやぐら。正しい人はその中に駆け込み、保護される。
18:11 富む者の財産はその堅固な城。自分ではそそり立つ城壁のように思い描いている。
18:12 人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。
18:13 よく聞かないで返事をする者は、愚かであり、恥を見る。
18:14 人の霊は病苦も忍ぶ。しかし、打ちひしがれた霊はだれが担えるだろう。
18:15 悟りのある者の心は知識を得、知恵のある者の耳は知識を求める。
18:16 人の贈り物はその人のために道を開き、身分の高い人の前にも彼を導く。
18:17 最初に訴える者は、相手が来て彼を調



べるまでは、正しく見える。
18:18 くじは争いをやめさせ、強い者の間に決着をつける。
18:19 反抗する兄弟は堅固な城よりも近寄りにくい。争いは宮殿のかんぬきのような。
18:20 人はその口の結ぶ実によって腹を満たし、その唇の収穫で満ち足りる。
18:21 死と生は舌に支配される。どちらかを愛して、人はその実を食べる。
18:22 妻を見つける者は幸せを見つけ、【主】から恵みをいただく。
18:23 貧しい者は哀願するが、富む者は荒々しく答える。
18:24 多くの友に関わる人は身を滅ぼす。しかし、兄弟以上に親密な友人もいる。

自分が知者であり続けるために、人の意見を遠ざけたり交わりを避けたりする人もいますが、そのように「自らを閉ざす者」は、知者であり続けることはできず、「知性と仲たがい」してしまいます。意見の違う人との交流にも積極的でありましょう。

逆に自分の不満やストレスを人に話して発散する人も多いですが、神様からの「英知」を喜ぶことを忘れず、ただ「自分の心がさらけ出される」だけの「愚かな者」になりますから気をつけましょう。

「えこひいき」は良くないと知りつつも、人情や憐れみでやってしまうこともありますから、気をつけましょう。主のみこころが何であるかを祈って聞きましょう。

「陰口」にも気を付けなくてはなりません。そんなつもりはなくても、「おいしい食べ物」のように、つい進んでしまいます。

「最初に訴える者」に気をつけましょう。一方的な判断や、感情に流された判断にならないようにしましょう。

「多くの友」ははずばらしいものですが、振り回されないようにしましょう。交友範囲の広さに満足するよりも、親密な交わりを大切にしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



18日 土曜

箴言

19:1 貧しくても誠実に歩む者は、唇の曲がった愚かな者にまさる。

19:2 たましいに知識がないことは良くない。急ぎ足の者は罪に陥る。

19:3 人の愚かさは自らの道を滅ぼす。その心は【主】に向かって激しく怒る。

19:4 財産は多くの友を増し加え、貧しい者はその友からも引き離される。

19:5 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者も逃れられない。

19:6 高貴な人の好意を求める者は多い。だれもが、贈り物をしてくれる人の友となる。

19:7 貧しい者は自分のすべての兄弟たちに憎まれる。友人が彼から遠く離れるのは、なおさらのこと。彼がことばをもって追い求めても、彼らはいない。

19:8 良識を得る者は自分自身を愛する者。英知を保つ者は幸いを見つける。

19:9 偽りの証人は罰を免れない。まやかしを吹聴する者は滅びる。

19:10 愚かな者にぜいたくな暮らしはふさわしくない。奴隷が君主を支配するのは、なおさらのこと。

19:11 人に賢明さがあれば、怒りを遅くする。その人の栄誉は、背きを見過ごすことにある。

19:12 王の激しい怒りは若い獅子がうなるよう。しかし、その好意は草の上の露のよう。

19:13 愚かな息子は父にとって破滅。妻のいさかい好きは、滴り続ける雨漏り。

19:14 家と財産は先祖から受け継ぐもの。賢明な妻は【主】からのもの。

19:15 怠惰は人を深い眠りに陥らせ、怠け者は飢える。



19:16 命令を守る者は自分のたましいを保ち、自分の道を蔑む者は死ぬ。

19:17 貧しい者に施しをするのは、【主】に貸すこと。主がその行いに報いてくださる。

「歩む者」、「急ぎ足の者」と、私たちの歩みに警戒を与えています。誠実であること、そして知識を持ってあせらないで進むことが大切です。

「愚かさ」は他人のためにならないだけでなく、自分自身の道を滅ぼすことを知るべきです。「財産は...」とあるのは、この世の現実を言っています。私たちは現実を理解した上で、神様の力ある権威と真理によって生きます。「高貴な人...」「貧しい者...」というのも同様です。

「良識」や「英知」は人や社会のためでもありますが、何よりも「自分自身を愛する」ことになるほど、本人のためでもあります。「幸い」を見つけることができます。

賢明な人はすぐに怒ることはしません。何があっても最善の主のみこころに聞きましょう。頭の回転を速くして、相手を遣り込める必要などないのです。

「家と財産」は物であって、それは人からもたらされることができません。しかし「妻」は人であって、人を変えたり出会わせてくださるのは主のみわざでしかできません。主に依り頼みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



19:18 望みのあるうちに、自分の子を懲らしめよ。しかし、殺そうとまで考えてはならない。

19:19 激しく憤る者は罰を受ける。たとえ彼を救い出しても、ただ、これを繰り返すことになる。

19:20 忠告を聞き、訓戒を受け入れよ。そうすれば、あなたは後で知恵を得る。

19:21 人の心には多くの思いがある。しかし、【主】の計画こそが実現する。

19:22 人の欲望は自らへの辱め。貧しい人はまやかし者にまさる。

19:23 【主】を恐れるなら、いのちに至る。満ち足りて住み、わざわざにあわない。

19:24 怠け者は血に手を伸ばしても、その手を口に持って行こうとさえしない。

19:25 嘲る者を打て。そうすれば、浅はかな者は賢くなる。悟りのある者を叱責せよ。そうすれば、彼は知識をわきまえ知ることになる。

19:26 父に乱暴し、母を追い出す者は、恥と屈辱をもたらす子。

19:27 わが子よ、訓戒を聞くのをやめてみよ。あなたは知識のことばから迷い出ることになる。

19:28 よこしまな証人は、さばきを嘲り、悪しき者の口は、不法を呑み込む。

19:29 さばきは嘲る者のために、むち打ちは愚かな者の背のために備えられている。

子どもは体験によって成長する面がありますから、悪い行いの結果を体験する必要があります。「懲らしめ」は大切な経験になります。ただし、罰が重すぎるとはよくありません。「殺す」とありますが、

命を断たないまでも、自尊心や平安や希望や意欲までも殺してしまわないように、十分な自制と愛が必要です。主に祈ることです。

「激しく憤る者」は何か心の問題を抱えている場合が多いです。助けてあげたいですが、「繰り返す」ことが多く、解決は難しいのです。私たちは覚悟と理解、また祈りが必要で、気の長い対応が求められます。主にゆだねることが必要です。

「忠告」「訓戒」は必ず助けになりますから、喜んで「受け入れ」ましょう。

「人の心には多くの思いがある。しかし【主】の計画こそが実現する。」とのみことばは、常に心に留めておきましょう。

「貧しい」ことは何も恥ずべきことではありません。むしろ、もっと欲しがる「欲望」の方が「辱め」られるような恥なのです。

「嘲る者」にも「浅はかな者」にも「悟りのある者」にも、教育や訓練は必要です。それぞれに効果がありますので、状態をよく見極めて最善になるようにしましょう。

愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、

